

所蔵品展No.165

# われわれの根源は、 森の奥にあり

## ——ガレ、高島北海と自然を 愛した美術家たち

"Nos racines sont au fond des bois"  
: Artists who Loved Nature

会期:11.15[金]~12.22[日]

休館日:月曜日

開館時間:9時30分~17時00分(入館は16時30分まで)

観覧料:一般:210円(160円)、大学生:100円(80円)

※()内は、20名以上の団体料金。

※18歳以下の方は観覧料が免除。

下関市と北九州市在住の方で、65歳以上の方は半額免除。

(いずれも公的証明書の提示が必要)

※下関市立美術館・北九州市立美術館友の会会員

(特別・賛助・一般・ペア会員)の方は観覧無料。

## 展覧会について

自然をテーマにした美術に注目します。

今年没後120年となるエミール・ガレ(1846~1904)は、植物をこよなく愛し、観察と研究の成果をガラス工芸作品に昇華させました。ガレの言葉を案内役に、創作の森へ分け入ってみましょう。

フランス留学時にガレと交流した日本画家高島北海、かつての下関市農業試験場(旧園芸センター)初代場長杏橋忠次郎のボタニカルアートなど、ガレと自然への眼差しを共有するアーティストたちの作品など、約80点(うちガレ作品約20点)を展示します。

## 関連催事

## ギャラリートーク

日 程:11月23日(土・祝)、30日(土)、12月7日(土)、15日(日)

時 間:午後1時30分~(約1時間)

場 所:2階展示室にて

参加方法:申込不要(要当日の所蔵品展観覧受付)



左2つ:ガレ工房《昆虫草花文ティーカップ》 中央:エミール・ガレ《楓・朝露文小瓶》1900年頃 右:高島北海《北米洛機山中壞雪湖図》1922年

# 下関市立美術館

Shimonoseki City Art Museum

(担当:渡邊・片岡)

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1

TEL. 083-245-4131 FAX. 083-245-6768

E-Mail kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

HP <https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art>

詳細はHPへ!

下関市立美術館